

人口の動き

人口総数	44,113	転入	164
男	22,042	転出	104
女	22,071	出生	59
世帯数	8,332	婚姻	55
		死亡	32
		離婚	2

(12月1日現在、住民登録による)



静岡県富士市平垣279番地
 発行所 富士市役所
 発行人 富士市長 遠藤 脩治
 印刷所 加藤 印刷所
 No. 42
 昭和34年1月1日発行

(新年号)

明けましておめでとうございます

新年の御挨拶



富士市議会議長 漆畑 五六

とまでいわれた田子浦港の築港は着工され、多年念願していた工場誘致は旭化成の進出をみ、幾多の難関に逢着しながらも関係市民各位の深い御理解と御協力により遂に成功いたしました。又都市計画富士一層開線を中心とする土木行政、学校建設等の文教政策

謹んで昭和三十四年の新春のお慶びを申し上げます。希望に輝く新しい年を迎えて市民の皆様の一一人の健康と御繁栄を心から祈念いたします。当市議会にとりまして、昭和三十三年は実に意義深い一年でございました。富士市にとって世紀の大事業

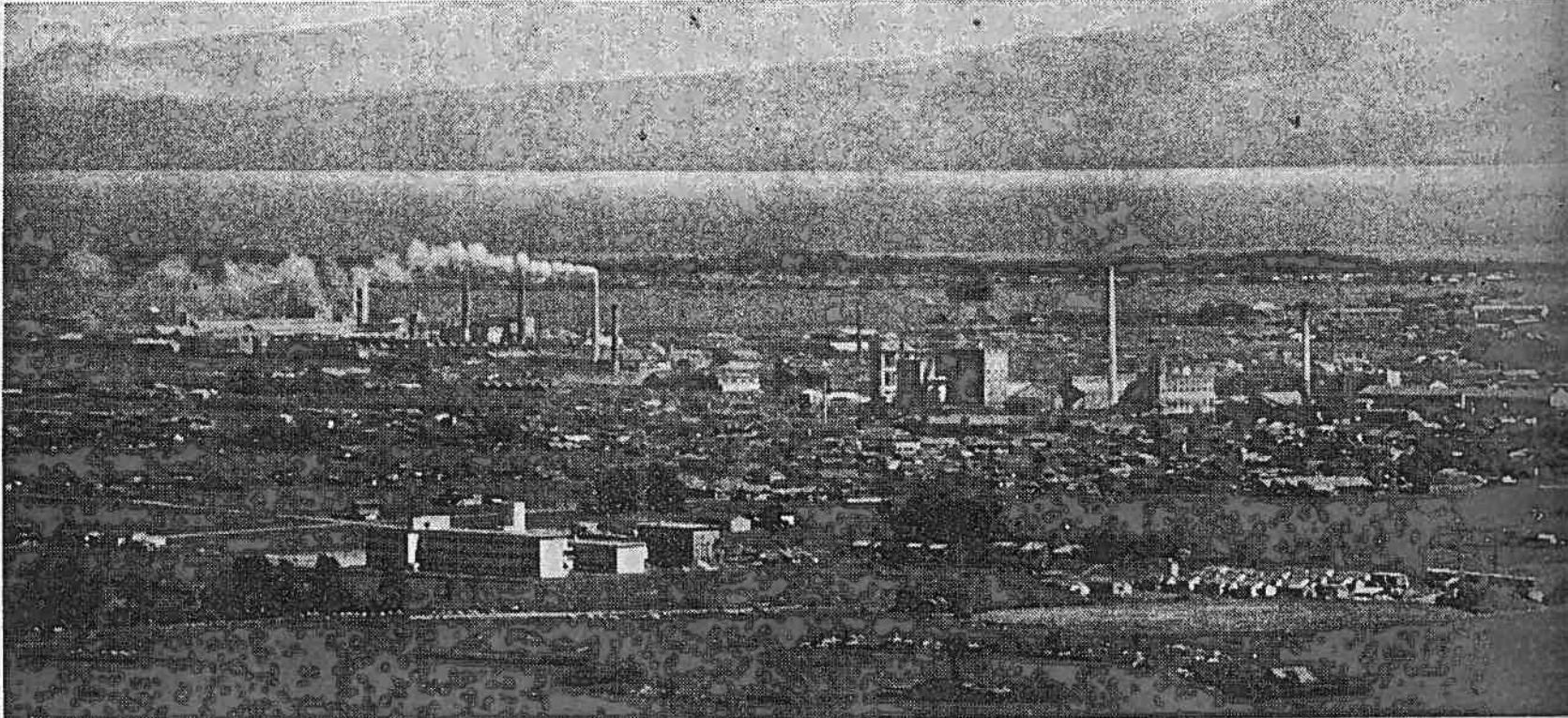
年頭の辞



富士市長 遠藤 脩治

して最も明るい話題であり、二十二号台風の被害は最も暗いニュースとして今更災害の恐ろしさに戦慄を感じ、多数の犠牲者に心から同情の念禁じ難いものがあります。又本市に於いては、世紀の大事業として全市民待望の田子浦港の築造、旭化成工場建設

昭和三十四年の輝かしい新年を迎えて皆様と共に喜び申し上げます。光陰矢の如しとか、夢の如く過ぎ去つた昭和三十三年を顧みますと、社会状況の転換もまた目まぐるしいものがあります。先ず皇太子妃の決定は国民と



拓けゆく富士市。千石の白雲を頂く秀麗富士の登山口および富士五湖めぐりの発着地として知られている富士市は旭化成の工場建設と田子浦港などで新興産業都市として大きく伸びあがってきました。当市は南に、天下の名勝田子浦を有し、東はかつての東海道五十三次の宿場であった吉原に通じ西は富士川をばさんで庵原郡に接し、また北は目の前に麗峰富士山を仰ぐ人口四万四千有余の黎明富士市でもあります。

新年の賀詞

市長	遠藤 脩治	市役所	収入役	武内 秀道	総務課長	内山 正己	文書課長	落合 広治	土木課長	佐野 清一	税務課長	長洲 幹彦	戸籍課長	望月 藤作	商工課長	下方 雅雄	厚生課長	滝川 隣竜	衛生課長	望月 雅己	水道課長	北村 良作	保険課長	栗原 正勝	会計課長	稲垣 正義	開発課長	兼遠藤 栄	農産課長	兼後藤 竜雄	田子浦支所長	田中 常次郎	岩松支所長	鈴木 敏三	教育委員会事務局	教育課長	田中 隆一	公民館長	松崎 慈謙	職員	松永安衛	市立富士中央病院	院長	長多々良 満寿雄	副院長	児玉 実光	副院長	滝本 房一	総務部長	広瀬 国助	職員	一
----	-------	-----	-----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	--------	--------	--------	-------	-------	----------	------	-------	------	-------	----	------	----------	----	----------	-----	-------	-----	-------	------	-------	----	---